

(財)三重県交通安全協会

交通安全みえ

2011 / 初冬号 No.174

発行所
(財)三重県交通安全協会
 三重県交通安全活動推進センター
 (三重県公安委員会指定)
 〒514-0004
 津市栄町1-954 三重県栄町庁舎5F
 TEL 059-228-9636
 URL <http://www.mie-ankyo.com/>

北から南から ～各地区の活動～

交通安全協会は**交通事故をなくす**ために幅広い活動を行っています。

- 街頭での交通安全指導(学童・お年寄りの街頭保護)
- 幼稚園、小・中学校へ新入園・新入学児童の交通安全資材・器材の提供
- 交通安全の広報啓発(新聞・テレビ・広報車)
- 交通安全イベントの開催(交通安全フェスタ等)
- 優良運転者・交通安全功労者(団体)等の表彰
- 交通事故無料相談の開設

大台地区、尾鷲地区
 交通安全協会の効果的活動は
 P2にズームアップ!

わたしはシンボルマスコット“ストッピー”です。



交通安全協会の活動は、皆様からのご支援・ご協力により、支えられています。

年末の交通安全県民運動 平成23年12月11日(日)～20日(火)

●運動の重点

- 1. 子どもと高齢者の交通事故防止**
 次代を担う子どものかけがえない命と交通死者数の約半数を占める高齢者を、社会全体で交通事故から守り、特に視認性が低下し、重大事故が多発する夕暮れ時と夜間の交通事故防止に努めましょう。
- 2. 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底**
 万が一事故に遭ったときの被害を軽減させるため、車に乗ったときは、全ての座席でシートベルトを着用し、乳幼児には体格に合ったチャイルドシートを正しく着用させましょう。
- 3. 飲酒運転の根絶**
 飲酒運転はもちろんのこと、飲酒運転をする恐れのある人にお酒を飲ませた人、車を貸した人、あるいは運転者がお酒を飲んでいることを知りながら運転を依頼・要求して同乗した人も処罰されます。社会全体で飲酒運転を根絶しましょう。



ちょっと
 夕暮れ時、早めの

ライト・オン運動実施中!!
 平成23年10月1日～12月31日まで



秋の色が濃さを増していく中で、日に日に夕暮れの時間が早くなっています。夕暮れ時から、日没後間がない時間帯は、経済活動や日常生活において自動車の稼働と人の動きが重なり合う時間帯でもあり、しかも視認性の低下などの要因により交通事故の増加も予想されます。そこで、交通事故に遭わないためにドライバーは少し早めにライトを点灯していただくをお願いしています。そして、歩行者は反射材を必ず着用し、出来るだけ明るい色の服装(黄色や白色)でドライバーに自分の存在をアピールしていただきたいと思います。また、運転している時、注意力の9割は自分の車線側にありますが、歩行者が被害となる事故の多くは進行方向右側からの横断中に発生しています。普段から進行方向右側の車線にも注意をして歩行者に優しい運転を心がけましょう。

交通安全サポート隊 第二班長 西村 健



平成24年使用

交通安全ポスターデザイン募集のお知らせ

●募集期間 平成23年11月下旬～平成24年1月31日必着

- 主催：財全日本交通安全協会 毎日新聞社
- 後援：内閣府 警察庁 法務省 文部科学省 厚生労働省 経済産業省 国土交通省 NHK
- 協賛：JA共済連 社日本自動車工業会

募集部門	応募資格・作品サイズ	応募方法
一般部門 A(運転者) B(歩行者・自転車)	○一般および学生(小・中学生も応募可) ○B2判(横51.5cm×縦72.8cm)縦型	○平成24年使用内閣総理大臣賞受賞スローガンを必ず原文のまま入れる。 ○交通標識等は正しく書き入れる。 ○車内の人物にはシートベルト、自転車に乗った児童にはヘルメットを着用させる。 ○パソコン作成も可 ○応募点数の制限はなく、共同作品でも可 ○未発表のものに限る。
こども部門	○小・中学生に限る ○B3判または四ツ切り画用紙で縦、横自由	

※スローガンは平成23年11月下旬の毎日新聞紙上及びNHKテレビ、ラジオで発表されます。
 ※応募票(部門・住所・氏名・生年月日・職業・電話番号・小中学生は学校名と所在地、電話番号、学年を併記。自作可)を作品の裏面に貼付。学校からの一括応募の場合は必ず学校の連絡先と応募者リストを添付してください。

発表 平成24年3月中旬の毎日新聞紙上とNHKテレビ 表彰式 平成24年3月下旬

送り先 〒100-8051 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 毎日新聞社事業本部「交通安全ポスター」係

この広報紙は、(社)自販連三重県支部・三重県軽自動車協会の御協力により、作成・発行しています。



(財)全日本交通安全協会作成による「交通ルールの遵守・マナーの向上等のためのロゴマーク」です。

夕暮れ時、夜間の交通事故防止対策をしていますか？

夜間の視界は、ライトの照射範囲に限られます。そのため、歩行者の発見が遅れ、事故につながりやすくなります。夕方からの外出時には、明るい色、反射材、反射材付きの服を身につけ、自分の存在をドライバーにアピールすることが大切です。

反射材着用なら、57m以上先でも見える!!

歩行者を発見して止まれる距離

時速60kmで **約44m**

STOP!

夜間の車から歩行者が見える距離

黒っぽい服装で **約26m**

明るい服装で **約38m**

反射材を着用すると **約57m以上**

視認性が高く安全!!

交通事故に遭う危険性がある

安全

運転者が歩行者を発見して車が止まれるまでの距離は、例えば時速60kmで走っているときで約44mです。

夜間、車から歩行者が見える距離は着ている衣服の色によって異なりますが、車のヘッドライトを下向きにしたときには、一般に黒っぽい服で約26m、白色などの明るい服で約38mとされています。

反射材の種類・大きさ・取り付け位置などによって異なりますが、約57m以上の視認性が確保されています。

反射材は再帰性反射という性質を持つ素体です。反射材を身に付けているとき車のヘッドライトが当たると、その光は光源である自動車に向かってそのまま反射されます。このため、本人はその効果を確かめることはできませんが、どの方向から来る車のドライバーにもよく光って見え、歩行者の存在を確認することができます。

尾鷲地区交通安全協会 100人が事故防止訴え 交通安全パレード



～紀北町で交通安全パレード～
町民に交通安全を訴えました。
これは、紀伊長島区と海山区で交互に行っているパレードで、交通宣言の後、パトカーの先導でスタート。子ども警察官を務める子どもたちを先頭に「交通安全」の横断幕や「交通安全運動実施中」ののぼり旗を掲げ交通安全を呼びかけました。

大台地区交通安全協会 高齢者用更新ハガキに一工夫!



4月1日から、大台町絵手紙グループが描いた作品を挿絵として発送しています。
今年2回目の絵手紙の発行、高齢者用ハガキには「横断歩道を渡って通行してほしい」という願いを込めて、優しいタッチの歩行者用信号機の押しボタンを登載。更新の際に今まで以上の方が持参するなど好評。年末には反射材のイラストに模様替えをする予定です。



秋の交通安全県民運動実施結果 9月21日～30日

	平成23年	平成22年	増減数
総事故件数	1,637	1,655	-18
人身事故	322	359	-37
死者数	2	4	-2

期間中の死者数は2人(前年同期比-2人)で、2人とも高齢者の方でした。
9月30日の「交通事故死ゼロを目指す日」には、死亡事故の発生はありませんでした。

冬季に向けた交通安全の備え

今年もはや、初冠雪の便りが話題となる季節となりましたが、この時期心配されますのが降雪や、路面の凍結により発生する交通渋滞、交通事故の多発といった問題ではないでしょうか。

ご承知のとおり、車を運転するという行為は平素さほど変化はないと思いますがものの交通量・流れ、また、天候等による道路環境の変化により、それぞれに応じた車の点検や運転技術が要求されます。

特に、冬季は道路環境の変化が厳しく、それに伴う交通安全の備えが必要となってきます。

- 車の点検では、バッテリー内液量の確認、冬用タイヤ等の準備、更に霜取りグッズ(ゴムへら、スプレー等)の携帯等。
- 運転技術面では、路面の凍結を考え速度調整、急ブレーキの禁止、適正な車間距離の保持。

といったことが考えられます。

これからの時期、安全で安心して車を運転していただくため、これらのことを念頭に置いていただくをお願いします。

(財)日本自動車販売協会連合会
三重県支部 総務部長 坂東 皓



社団法人 日本自動車販売協会連合会

ご紹介

自動車の健全な普及と流通・環境面等の諸問題の改善、整備を図る目的を達成するため、昭和34年に設立された自動車ディーラーの全国組織で、全国都道府県に支部を設置しております。

第6回

楽しく学ぼう!交通安全学習フェスタが開催されました!

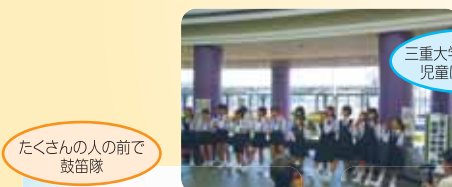
平成23年10月29日(土)三重県交通安全研修センターを一日開放し「交通安全学習フェスタ」を開催しました。開会式に続いて、三重大学体育会応援団の迫力ある演部、久居保育園のよさこい踊り、津西幼稚園の鼓笛隊の演奏の披露がありました。大勢の来場者が見守る中、子どもたちは一生懸命練習してきた成果を発揮し、会場を盛り上げました。



元気いっぱい「よさこい」



三重大学体育会応援団



たくさんの人の前で鼓笛隊

迫力ある和太鼓

屋内施設では、三重大学付属小学校児童の合唱が行われ来場者を魅了しました。

また、子どもたちは警察官ミニ制服を着用して撮影をしたり、「子ども免許証」や「ストッピーキーホルダー」を親子づれで作成したり、パトカーに試乗しました。子どもたちは様々な体験を楽しみ、盛りだくさんの催しものが行われた会場では絶えず親子づれや三世代の笑い声が響いていました。

お昼には相可高校、食物調理科のお弁当も販売されましたが「まごの店」のお弁当は大人気で、瞬間に完売しました。ラストは日生学園第二高等学校のみなさんによる和太鼓が披露され、たくさんの方々の笑顔で溢れたフェスタはご来場くださった皆さん、ご協力くださった関係者の皆さんのおかげで大盛況でした。